

# このファイルについて

トロントでは、CAJLEとジャパン・ファウンデーション・トロントとの共催で「日本語学習を継続させる」という集まりを2009年より数か月に一度実施しています。

このファイルは、2014年10月と2015年2月に集まった現職教師たちのグループ作業によってまとめられました。限られた時間での作業でしたので不十分な記述の箇所もありますが、現場の教師たちが試行錯誤で行った教材分析の結果をほかの先生方と共有したいと思います。みなさんがこの教材について知りたいと思われた時の一つの参考資料としてお使いください。

本ファイルには客観的な記述に加え、分析を行った先生方がご自分の経験やお考えに基づいて書かれた意見・感想の箇所があります。あくまで、そう思われる方がいる、という目で読んでいただければ幸いです。このような成果物をみなさまと共有するにあたっては、よい意味でみなさまご自身が批判的に個々の教材をご覧になれるように、その材料を提供するという意図もあります。したがって、書かれた内容そのものに焦点を当てていただくために、分析に携わった方々のお名前はあえて記しておりません。ご質問等ございましたら、[cajle.pr@gmail.com](mailto:cajle.pr@gmail.com)宛てにお送りください。

「日本語学習を継続させる」CAJLE担当 小室リー郁子（2015年3月）

# このファイルの作成に至るまで

- トロント地域で使用されている以下の初級総合教材を分析対象としました。
  - 『げんき 1』 『文化初級日本語』 \* 『みんなの日本語 I』 『Japanese for Busy People I』 『Mirai Stage 1』  
(\* 『文化初級日本語』 は、日本でよく知られた教科書であるにも関わらずトロント地域の学校や教師に知名度が低いことが明らかになったため、あえて今回の分析対象とし、ともに学習することを目的としました。)
- 一種類の教材（教科書）につき、2～3人の教師が担当し分析を行いました。二回の勉強会では、メンバーが入れ替わり、各人が一回目とは異なった教材を担当することになりました。
- 二回の勉強会では、グループごとにこのファイルへの記入を行い、それを用いて全体で発表を行いました。一回目は、教材全体について、二回目は「好きです」を扱っている課について焦点を当てました。このファイルのテンプレートは、この教材分析を企画した担当者が作成しました。
- 具体的に一課分を詳細に見るにあたり、「好きです」が扱われている課を選びました。それは、「好きです」がどの初級教科書においても共通して扱われている項目であり、相互比較が可能であろうと判断したためです。

文化初級日本語I / 文化初級日本語II  
\*英語名なし

文化外国語専門学校 日本語科  
改訂版（第1版）  
株式会社 凡人社

価格2800円＋税（2013年8月20日現在）

## シリーズ

- 文化初級日本語Ⅰ (CD2枚付)
- 文化初級日本語Ⅱ (CD2枚付)
- 文化中級日本語Ⅰ (CD付)
- 文化中級日本語Ⅱ (CD付)

## 副教材

- 文化初級日本語練習問題集I
- 文化初級日本語練習問題集II
- 文化中級日本語練習問題集I
- 文化中級日本語練習問題集II
- 楽しく聞こうI (CD2枚付)
- 楽しく聞こうII (CD2枚付)
- 楽しく聞こう 教師 (CD原稿付)
- 楽しく読もうI
- 楽しく読もうII
- 楽しく話そう
- 文化初級日本語・教師用指導例集I&II (CD1枚付)

# オンラインリソース

- 無料
- 付属CDの扱い方についてはウェブサイトあり。

# 表記

## ● 導入

- 平仮名：「教室の言葉」（第1課の前）
- 片仮名：「生活の言葉」（第1課の前）  
※「教室の言葉」の前にひらがな・カタカナ表あり
- 漢字：「教室の言葉」（漢字には振り仮名付）  
※特に漢字に特化した課はなく練習問題の第一課から漢字を書いて答えるようになっている。

## ● 本文

- 全課ひらがな・カタカナ・漢字表記
- 媒介語なし（ローマ字併記なし・但しひらがな・カタカナの表にのみローマ字併記）

# 対象と目標

- 対象：将来の日本語の大学や専門学校などに進学することを希望し、初めて日本語を学ぶ学習者が対象
- ゴール：
  - ①文法を正確に理解する力
  - ②相手が言いたいことを理解する力
  - ③自分が伝えたいことを積極的に表現する力

# 特徴

- **重視**：媒介語を使用していないので場面や状況を表すイラストを多数掲載
- 学習者が日本で生活する中で遭遇するであろう場面を取り上げている
- 学習者に身近な内容でストーリーを構成
- 例文は自然な会話や文を使用
- 練習は代入練習と自分のことを話す練習

# 全体の構成 1 (日本語文化初級 I)

- 全262ページ (6~10ページ/課)
- 全18課211ページ
  
- 文法解説：なし
- イラスト：多数・豊富にあり
- 写真：なし
- 地図・データ等：なし
- 音声：CD2枚あり
  
- 索引：動詞・形容詞・一覧表／助数詞／文型一覧／  
50音索引／第12課練習 聴解スクリプト

## 全体の構成 2

- 標準的なコースの流れと所要時間  
全18課を週25コマ(各50分) を4か月半。

# 各課の構成

## 1. 本文

学習者に関連のある場面を取り上げ、その中で文型を提示。(会話文、作文、日記など)

## 2. 文型

新出文型を提示し、実際の発話に結び付けられるような例文を提示。

## 3. 練習

a. 代入練習 (文型の意味や使い方の確認)

b. 「友達と話そう」 (文型の意味を理解した上で、自分の表現を定着させる。クラスメートの話に興味を持って聞き、理解し合う。)

# グループでの気づき & 感想 【全体】

- オンラインリソースがない
  - 学習者の学習手段が限られている
  - 日本で学習している学習者には必要はないのかもしれない。
- イラストのみで写真がなし
  - アップデートの必要がない
- 漢字練習がない
  - 荒療治タイプの教科書
- 文法説明がない
  - 文法説明はないが、色を使い分けて文型を紹介している。

# グループでの気づき & 感想 【全体】

- 各技能に応じた教材があり、主教材については「話す」を中心に構成されている。

<<技能ごとの授業を行うことができる学校では使  
いやすいかもしれないが、そうではない学校では  
使いにくいのではないか

# 「好きです」の課：第6課

- この課で取り上げる文法

Nが好きです

料理をしますか

どんなNが好きですか

動詞の辞書形

Vするのが好きです

AかB

助詞「は」の導入

頻度（よく、あまり、ぜんぜん）

- トピックや場面（文脈）

食べ物に関していろいろな質問をしている。

例)

好きな映画について述べる

スポーツに関する質問（好きなスポーツやどんなスポーツを見るのが好きか）

# 「好きです」の課：第6課

- 練習のパターンとタスク

[教科書]

反復練習やロールプレイなど通して文型に慣れる

[練習問題]

代入練習を繰り返すことで、文型の定着をはかる

- 文法と四技能
- [話す]ペアで会話する。
- [読む・書く（漢字）・聞く]は別冊を使用

# グループでの気づき & 感想 【第6課】

- 頻度の副詞、疑問詞、辞書形、助詞「は」の導入がある。

<< 1課でカバーするには多すぎる。初級の学習者にとっては大変なのではないか。

- 「Nが好きです」と一緒に、辞書形と「Vするのが好きです」も導入。

<< 「Nが好きです」や「どんなNが好きですか」などがしっかり定着してからのほうがいいのではないか。